

当日参加も可能、聴講は無料です。



ヤンゴン公開講演会

The 2nd Open Lecture in Yangon

第2回

ヤンゴンで健康に過ごすために 知っておきたい医学知識

第1部

感染症

第2部

知っておきたい医学知識・医療情報

開催日時

2020年1月12日(日)
13:00～16:00／講演会

開催場所

Prime Hill 4F Seminar Room,
Prime Hill Business Square, No.60,
Shwe Dagon Pagoda Road,
Dagon Township, Yangon, Myanmar

共 催

日タイ教育研究振興財団
新潟大学ミャンマー感染症研究拠点
大阪大学微生物病研究所

協 賛

サミティベートスクリンビット病院
サラヤ(株)産学官連携事業部
ブルーアシスタンスマニマ(株)

後 援

在ミャンマー日本国大使館

※講演要旨・会場地図は裏面に掲載しております。

12:30 受付開始

13:00 開会の挨拶 在ミャンマー日本国大使館 代表
新潟大学ミャンマー感染症研究拠点 代表
大阪大学微生物病研究所 代表

13:10 「ミャンマーで気をつけたい子どもの感染症」
新潟大学大学院医歯学総合研究科
小児科学分野 教授 斎藤昭彦 先生

13:35 「結核を正しく恐れるために」
新潟大学大学院医歯学総合研究科
呼吸器・感染症内科学分野 教授 菊地利明 先生

14:00 「下痢の原因となる病原体」
大阪大学微生物病研究所
細菌感染分野 教授 飯田哲也 先生

14:25 「質疑応答」
講演3名の先生方+大使館 吉田尚史 医務官

14:35 ━━━━━━休憩(Coffee Break)━━━━━

14:50 「動悸と不整脈のお話」
大阪大学医学研究科
国際循環器学寄附講座 講師 水野裕八 先生

15:15 「ミャンマーでご家族元気に過ごしましょう」
サミティベートスクリンビット病院 南宏尚 先生

15:40 「質疑応答」
講演2名の先生方+大使館 吉田尚史 医務官

15:50 閉会の挨拶 日タイ教育研究振興財団 代表
サラヤ株式会社、ブルーアシスタンスマニマよりご案内

16:00 閉会



参加登録

事前登録にご協力ください。



お手持ちのスマートフォンで
QRコードを読み取っていただくと、ご登録ができます。



QRコードが上手く読み込めない場合、またはPCから

<https://forms.gle/vLfQBT6V7NZh6JmbA>



①お名前(ふりがなを添えて)、②連絡先(メールアドレスまたは電話番号)、③職業(会社員、主婦等)をお知らせください。
質疑応答の時間を取っております。本講演でのご質問はメールで受け付けております。
但し、ご質問の全てに回答できない場合がありますので、予めご了承ください。



info@jtrep.com

講演要旨



ミャンマーで気をつけたい子どもの感染症

新潟大学大学院医歯学総合研究科
小児科学分野 教授
齋藤 昭彦 先生

ミャンマーと日本では、流行している感染症が季節によって大きく異なります。ミャンマーでは、どの様な感染症に気をつければいいのでしょうか?この講演では、主に子どもたちを中心に、注意すべき感染症とその予防の対策、そして治療について、分かりやすくお話しします。



結核を正しく恐れるために

新潟大学大学院医歯学総合研究科
呼吸器・感染症内科学分野 教授
菊地 利明 先生

結核は空気中の菌を吸い込むことによって、人から人に感染します。そのため、家庭や会社などの社会生活の中で、結核の感染は広がることになります。ただし、菌を吸い込んだからといって、すべての人が結核を発病するわけではありません。まず結核という病気をよく知って、正しい対策を身に着けて頂きたいと思います。



下痢の原因となる病原体

大阪大学微生物病研究所
細菌感染分野 教授
飯田 哲也 先生

下痢はさまざまな原因によって引き起こされますが、細菌やウイルスなど微生物が原因の症例が数多くみられます。本講演では、下痢を起こす病原体がどこに潜んでいるのか、どうやって病気を起こすのか、について解説します。下痢にかかるためにはどうしたらよいのかについてのヒントをつかんでいただければと思います。



動悸と不整脈のお話

大阪大学医学研究科
国際循環器学寄附講座 講師
水野 裕八 先生

心臓は、電気信号の命令を受けて規則正しく血液を送り出しています。この電気信号が乱れた状態を不整脈といいます。症状があっても大丈夫なもの、症状がなくても要注意のものなどいろいろな種類があります。ぜひこの機会に不整脈について知つていただき、御自身や周囲の方の健康増進にお役立てください。



ミャンマーでご家族元気に過ごしましょう

サミティベートスクンビット病院
南 宏尚 先生

気候も文化も違う外国で長期間暮らすことによって心身にストレスを覚えている方が多いのではないでしょうか。どのように毎日を過ごし、体調が悪くなった時にはどうすれば良いのか、特にお子さんのために気を付けるべきことは何か?といった疑問を皆さんと一緒に考え、色々な職種からなる当院医療チームからのアドバイスをお届けしたいと思います。

東南アジア地域における活動のあゆみ

新潟大学ミャンマー感染症研究拠点

新潟大学ミャンマー感染症研究拠点は、2015年ヤンゴン市内のミャンマー国立衛生研究所内に開設されました。現在は、主として呼吸器感染症に関する研究活動を推進するとともに、感染症研究の人材育成を進めています。

大阪大学微生物病研究所

大阪大学微生物病研究所は、2005年に日本・タイ新興・再興感染症共同研究センターをタイ国保健省内に設置し、腸管感染症や蚊媒介性ウィルス感染症の研究を続けるとともに、感染症に関する啓蒙活動を行っています。

会場

右の地図をご参考ください。
お車でのご来場の際は、会場に隣接した駐車場がございます。

お問い合わせは

メールで受け付けております。



info@jtrep.com

